

令和3年度 札幌市エイズ対策推進協議会

議事録

日時 令和4年2月18日(金)18:45~20:00

実施方法/場所 オンライン(ZOOM)/ WEST19 4階デイルーム

<p>① 開会の辞 (黒川感染症 総合対策課長)</p>	<p>定刻となりましたので、これより、令和3年度札幌市エイズ対策推進協議会を開催いたします。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます、保健所感染症総合対策課長の黒川と申します。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>本日の会議は1時間程度を予定しております。</p> <p>今年度の協議会は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン形式での開催といたします。またこの会議は、公開となっております。</p> <p>本日、石原委員につきましては、欠席する旨の御連絡をいただいております。それ以外の委員はご出席いただいておりますので、エイズ対策推進協議会規則に基づき委員の過半数の出席となりますので開催要件を満たしていることをご報告いたします。</p> <p>先に配布資料の確認をさせていただきます。別紙1は本日の会議次第です。別紙2は札幌市エイズ対策推進協議会委員名簿です。別紙3は札幌市のエイズの現状について、別紙4は令和3年度の札幌市エイズ予防対策実施状況、別紙5は令和4年度の札幌市エイズ予防対策実施計画案、別紙6は世界及び国内のエイズの現状、別紙7道内のエイズの現状、別紙8は政令指定都市のエイズの現状、別紙9は北海道エイズ治療拠点病院一覧、別紙10は札幌市エイズ予防対策基本方針となります。</p> <p>この配布資料のうち、別紙3、4、5はこのあと事務局から説明とともに、画面で放映も行います。</p>
--------------------------------------	--

<p>② 開会挨拶 (山口感染症 担当部長)</p>	<p>では次に開会挨拶にうつります。札幌市保健福祉局医務監の館石は本日所用により欠席のため、保健所感染症担当部長の山口よりご挨拶申し上げます。</p> <p>札幌市保健所感染症担当部長の山口でございます。本日は、医務監の館石がご挨拶申し上げるところ、所用により欠席のため、私からご挨拶申し上げます。</p> <p>本日はお忙しい時節ご出席をいただき、誠にありがとうございます。令和3年度札幌市エイズ対策推進協議会の開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>皆様には日頃より、エイズ対策にご理解とご協力を賜り、御尽力いただいていることに、この場をお借りして感謝申し上げます。</p> <p>さて、札幌市エイズ対策協議会につきましては、札幌市におけるエイズの感染の予防及びまん延防止について、多方面の委員の皆様にご参加をお願いし、ご審議いただくこととしています。</p> <p>例年2月頃に開催しておりますが、ちょうど新型コロナウイルスの流行時期と重なり、令和元年度及び令和2年度は開催を中止いたしました。今年度はオンライン形式での開催としまして、3年ぶりの開催となります。</p> <p>近年、エイズは治療の進歩により、感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになっており、アップデートされた正しい情報・知識の普及と、検査の機会の確保は重要と考えております。</p> <p>新型コロナウイルス流行下ではありますが、委員の皆様には、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。</p>
------------------------------------	--

<p>③ 出席者紹介 (黒川感染症 総合対策課長)</p>	<p>結びになりますが、本日の協議会が実り多いものになりますよう、お願いいたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、事前に皆様にお送りいたしました。別紙2の委員名簿のご確認をお願いいたします。委員の皆様の任期は2年間でございます。この度は3年ぶりの開催となり、初めて協議会に参加される委員の方は9名となります。</p> <p>恐れ入りますが、はじめて顔を合わせる方もいらっしゃいますので、皆様より、自己紹介をお願いしたいと存じます。</p> <p>本日はオンライン会議のため、発言者がどなたなのか明確になるように、発言される前には最初に、ご所属とお名前を述べてからご発言をお願いいたします。では、委員名簿順に天野委員から順番に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(天野委員) 札幌歯科医師会で理事をしております天野です。よろしくお願います。</p> <p>(池田委員) 札幌医科大学血液内科の池田です。HIVの診療を担当しております。よろしくお願います。</p> <p>(梅内委員) 札幌青年会議所の梅内です。よろしくお願います。</p> <p>(遠藤委員) 北海道大学病院血液内科の遠藤です。HIV診療に携わっています。よろしくお願います。</p> <p>(後藤委員) 札幌市医師会理事の後藤です。よろしくお願います。</p>
---------------------------------------	--

(坂本委員)	社会福祉法人はばたき福祉事業団の坂本です。よろしくお願いいたします。
(佐々木委員)	札幌薬剤師会理事、NTT 東日本札幌病院、薬剤科部長の佐々木です。よろしくお願いいたします。
(高原委員)	札幌市 PTA 協議会理事の高原です。よろしくお願いいたします。
(谷口委員)	札幌市立高等学校・特別支援学校 養護教諭連絡協議会市立札幌新川高等学校 養護教諭の谷口です。よろしくお願いいたします。
(沼田委員)	NPO 法人レッドリボンさっぽろ事務局長の沼田です。よろしくお願いいたします。
(藤枝委員)	株式会社エフエム北海道編成制作部長の藤枝です。よろしくお願いいたします。
(満島委員)	Brast 副代表の満島てる子です。よろしくお願いいたします。
(宮島委員)	札幌市養護教員会からまいりました。札幌市立発寒中学校で養護教諭の宮島です。よろしくお願いいたします。
(渡部委員)	北海道大学病院の外来で HIV を担当しております看護師の渡部です。よろしくお願いいたします。
(黒川感染症 総合対策課長)	ありがとうございます。では次に、札幌市から協議会事務局の出席者より、自己紹介いたします。
(山口感染症 担当部長)	札幌市保健所感染症担当部長の山口です。よろしくお願いいたします。

<p>(黒川感染症 総合対策課長)</p>	<p>あらためまして、保健所感染症総合対策課長黒川です。よろしく お願いします。</p>
<p>(寺田感染症 医事対策課長)</p>	<p>感染症医事担当課長の寺田です。よろしくお願いします。</p>
<p>(新田結核対 策係長)</p>	<p>結核対策係長の新田です。よろしくお願いします。</p>
<p>(小松)</p>	<p>結核対策係担当保健師の小松です。よろしくお願いします。</p>
<p>(綿谷)</p>	<p>同じく担当保健師の綿谷です。よろしくお願いします。</p>
<p>(黒川感染症 総合対策課長)</p>	<p>次は、オブザーバーの出席者から自己紹介いたします。</p>
<p>(阿部地域保健 ・母子保健担当 課長)</p>	<p>地域保健・母子保健担当課長の阿部です。よろしくお願いします。</p>
<p>(細海衛生研究 所保健科学課 長)</p>	<p>札幌市衛生研究所保健科学課長の細海です。よろしくお願いします。</p>
<p>④ 議事進行へ (黒川課長)</p>	<p>本協議会規則で、会長を委員互選により選出いただくこととしてお ります。また会長が副会長を2名指名することとしております。</p> <p>前回までは、北海道大学遠藤様に会長職をお願いしてまいりまし た。事務局案としては引き続き遠藤様にお願いしたいと思いき ますが、皆様、いかがでしょうか。意義がなければ、みなさま挙手をお 願います。</p> <p>(意義なし)</p>

<p>⑤ 会長挨拶 (遠藤会長)</p>	<p>それでは、これより議事の進行につきましては、遠藤会長にお願いしたいと存じます。遠藤会長、よろしくお願いたします。</p> <p>ご指名ありがとうございます。この会は、医療職以外の方も多くいらっしゃる貴重な会だと思っております。皆様のご協力をいただきながら、円滑に議事を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>副会長については、前回までお願いしていました、札幌医科大学池田委員に引き続きお願いしたいと思います。また、もうお一人は、新たに札幌薬剤師会の佐々木委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>よろしければ、みなさま挙手をお願いします。</p> <p>(了解)</p> <p>ありがとうございます。それでは、さっそく議事を進めます。本日の議事につきましては、会議次第のとおり報告事項が2題、協議事項が1題ございます。</p> <p>まず事務局から、報告事項2題と協議事項1題について、まとめてご説明をいただき、その後、委員の皆様からご質問等をお伺いしたいと思います。それでは事務局、お願いします。</p>
<p>⑥ 報告事項説明 (新田結核対策係長) ・報告事項1</p>	<p>事務局 結核対策係長の新田でございます。</p> <p>はじめに、札幌市のエイズの現状について、ご説明いたします。お手元の資料、別紙3をごらんください。</p> <p>まず、HIV感染者・エイズ患者の届出状況です。届出件数の年次推移ですけれども、令和3年はHIV感染者16件、エイズ患者6件の、計22件で、前年の18件から4件増加となりました。</p> <p>届出に占める「エイズ患者」の割合、いわゆる「いきなりエイズ」</p>

の割合は、令和3年は27.3%で、おおむね横ばいの状況です。

2 性別・年次推移です。令和3年は、22件すべて男性でした。

3 感染経路別・年次推移です。グラフの赤色の部分同性間 性的接触によるものが11件で、全体の5割を占めています。

4 性別・感染経路別累計です。平成元年から令和3年までの届出の累計を示したものです。赤い色の部分が感染経路「同性間性的接触」によるもので、男性HIV感染者では約8割、男性エイズ患者では約5割と、感染経路のうち最も高い割合を占めています。

5 性別年齢階級別届出数です。令和3年は、HIV感染者については、20代～40代に分布しており、エイズ患者については、30代に集中しております。

6 性別年齢階級別累計です。水色で示している部分が男性HIV感染者、黄緑色で示している部分が男性エイズ患者ですが、ともに30代が多い状況となっております。また、60代以上のグラフを見ますと、黄緑色の男性エイズ患者の割合が多い状況です。

次に、札幌市のHIV相談・検査状況についてご説明いたします。

1 相談・検査の体制についてですが、相談は、各区保健センターに「エイズ専用相談電話」を設けて対応しているほか、札幌市HIV検査・相談センターである「サークルさっぽろ」でも検査時に相談対応をしております。「サークルさっぽろ」の運営につきましては、札幌市から「社会福祉法人はばたき福祉事業団」に委託しております。

次に、検査体制ですが、例年は平日日中の検査を市内10か所の

各区保健センターでそれぞれ月2回、夜間検査は毎月第2火曜日に白石保健センターで、休日検査は年2回6月と12月、男性同性愛者を対象とした休日検査を年1回、これらは市の直営での実施で、HIV検査にあわせて梅毒検査も同時に受けられる体制としております。また、毎週土曜日の検査については、「はばたき福祉事業団」に委託し、「サークルさっぽろ」で、HIV検査を実施しております。いずれも、令和2年度・3年度においては、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けまして、例年よりも規模を縮小しての実施となっております。

つづいて、2の年度別エイズ相談件数です。令和3年度は1月までの集計です。過去3年分1月までで比較しますと、令和2年度・3年度は、サークルさっぽろ・保健所ともに、例年よりも減少していきまして、令和3年度は令和元年度の同時期の74%です。

次に、3の年度別のHIV検査件数です。平成30年度の梅毒検査開始以降、HIV検査数は増加しておりましたが、令和2年度・3年度はコロナ対策による検査の一時休止や規模縮小の影響を受けまして、コロナ流行前より減少しております。検査件数についても、令和3年度は1月までの集計でして、同時期で比較すると、令和3年度は令和元年度の42%です。なお、陽性者数は、令和3年度は平日検査で1名、土曜検査で1名、計2名です。

まとめにつきましては、ただいまのご説明の繰り返しになりますので、割愛いたします。

続いて、梅毒患者の届出状況について、ご報告いたします。1の年次推移です。梅毒の届出件数は、全国の傾向と同様、平成24年頃から急増している状況で、令和3年の届出は119件、過去最高の件数となりました。この傾向は国全体でも同様となっております。

<p>・報告事項 2</p>	<p>2の性別年次推移です。令和3年は、男性が66件、女性が53件で、男性のほうが多い状況が続いています。</p> <p>3の感染経路別年次推移です。令和3年は「異性間性的接触」が79件で、6割以上を占めております。</p> <p>4の性別感染経路別累計、5性別年齢階級別届出数は省略させていただきますまして、6性別・年齢階級別累計です。女性は20代が特に多く、男性は20～40代が多い状況となっています。</p> <p>続いて、平成30年度から開始しました梅毒検査の状況についてです。令和3年度は1月までの集計ですが、HIV検査を受けた方388名のうちの370名が梅毒検査も一緒に受けております。梅毒検査で陽性となった方は15名おりまして、医療機関への受診を勧奨しております。</p> <p>札幌市のエイズの現状についての報告は以上です。</p> <p>次に、令和3年度の札幌市エイズ予防対策実施状況についてご報告いたします。別紙4をご覧ください。主な取組をピックアップしてご報告いたします。</p> <p>まず、本協議会は年1回の開催で、今年度は3年振りの開催でございます。</p> <p>次に普及啓発事業ですが、市民全般を対象としたものと、個別施策層を対象としたものを実施しております。</p> <p>市民全般を対象としたものでは、①の世界エイズデー予防啓発キャンペーンについてですけれども、コロナ対策のため啓発イベントは中止としましたが、コロナ流行下においても実施できる方法として、今年度新規に街頭大型ビジョンでの放映や、配布用カードを作成し、啓発を行いました。</p>
----------------	---

<p>⑦協議事項説明</p> <p>(新田結核対策係長)</p>	<p>こちらの写真のように、地下鉄大通駅の定期券売り場前や、大通証明サービスコーナーにある街頭ビジョンでの放映を実施しました。</p> <p>次に、相談・検査事業等についてです。今年度はコロナ対策のため、規模を縮小した形での実施体制となりました。緊急事態宣言期間中においては全ての検査を休止し、まん延防止等重点措置期間中においては、夜間検査・休日検査を休止いたしました。</p> <p>HIV 検査は匿名検査のため、検査を急遽中止する場合には、予約した方に中止の連絡を差し上げられない状況ですので、予約受付開始時期と中止の判断時期について配慮をいたしました。</p> <p>⑤男性同性愛者向け検査につきましては、ハイリスク層ということで、私どもも大事にしている検査でございます。今年度につきましても、検査の周知や検査当日の相談員の派遣などを「NPO 法人レッドリボンさっぽろ」にご協力いただき、午前のみの実施ではありましたが、26名の方が検査を受けています。</p> <p>続きまして、令和4年度の札幌市エイズ予防対策実施計画案についてご説明いたします。別紙5をご覧ください。</p> <p>令和4年度につきましても、コロナの感染対策は引き続き必要な状況ですので、コロナ流行下においても実施できる手法なども導入して、事業を実施して参りたいと考えております。</p> <p>今年度新規で実施しました街頭大型ビジョンを活用した啓発は、令和4年度も引き続き実施予定としております。</p> <p>また、検査事業につきましては、令和4年度からすぐに、コロナ流行前と同じ規模に戻すということは難しいのですが、段階的</p>
----------------------------------	--

<p>⑧質問・協議 (遠藤会長)</p> <p>(池田副会長)</p> <p>(遠藤会長)</p> <p>(山口感染症担当部長)</p>	<p>にということで、平日検査の回数や休日検査の実施時間帯等をコロナ流行前の体制に戻したり、夜間検査についてはコロナ流行前の定員に近づける等、検査機会の確保に努めていく計画でございます。</p> <p>簡単ではございますが、令和4年度の札幌市のエイズ予防対策実施計画案につきまして、事務局からの説明は以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたら、お願いいたします。</p> <p>本日はオンライン会議のため、ZOOM 画面にあります「手を挙げる」ボタンで ZOOM 機能の挙手をして頂き、指名後にマイクのミュートを解除し、発言者がどなたなのか明確になるように、所属名とお名前を述べてからご発言をお願いいたします。</p> <p>発言後には「手を降ろす」ボタンで手のマークを消し、マイクを OFF にしていただきますよう、お願いいたします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続くと思われるので、検査件数が減少したままという事になれば、発見が遅れて「いきなりエイズ」増えてしまう可能性があるのでは、なるべく検査機会を保つ必要があります。</p> <p>非接触型の検査である「郵送検査」について、札幌市では導入を検討されている状況でしょうか。</p> <p>ただいま池田委員からご質問ありました郵送検査について、札幌市の検討状況はどうでしょうか。</p> <p>郵送検査については令和3年1月26日の厚労省の厚生科学審議会エイズ・性感染症に関する小委員会で、HIV・性感染症検査の適切な</p>
--	--

	<p>実施に向けた方向性について検討があり、ワーキンググループを設置しスクリーニング検査として郵送検査を適切に実施できるようガイドラインを策定していく方向性について検討されています。厚労省に確認したところ、ガイドラインは現在も作成中であると聞いています。</p> <p>札幌市として郵送検査の運用方法についてはガイドラインに基づく実施が必要と考えますので、ガイドラインをふまえて検討したいと考えております。</p> <p>(遠藤会長) ガイドライン完成後、迅速にスタート出来るように準備をお願いします。また、次年度の本会でこの件についてのご報告をお願いします。</p> <p>HIV 検査数が激減しているのが課題であり、検査についてクリニックとの連携する方法について、費用を行政が助成し無料検査を行っている地域もあるようですが、札幌市ではできないでしょうか。</p> <p>(山口感染症担当部長) 全国の政令市について、他都市では検査を委託していない所が8都市。委託しており HIV 検査のみ委託している都市は3都市。性感染症も委託しているのは札幌市以外で3都市、中には HIV のほかに性感染症と肝炎の検査を委託している市もあります。匿名性の担保が課題となること、また拠点病院以外の病院との連携など、色々パターンがあるので、検討が必要になります。</p> <p>(遠藤会長) 検査を受けられず、行き場を失う人が出るのではないかと。医師会としては、HIV 検査を市内クリニックと連携しようと考えたとき、医師会で行っている取り組みや、声を掛ければ受けてくれるクリニックはありそうですか。</p> <p>(後藤委員) 札幌市医師会としては、行っている取り組みはありませんが、何か行えれば良いかと、個人的には思います。</p>
--	--

<p>(遠藤会長)</p>	<p>ありがとうございます。他の委員の皆様から何かありませんか。</p> <p>他の意見が出るまでの間に、1点質問があります。別紙3の3HIVの感染経路別年次推移の、令和3年のその他1件って何でしょうか。</p>
<p>(黒川感染症 総合対策課長)</p>	<p>発生届で、その他にチェックされていたものを計上してしまして、今、手元にある資料では、すぐに解らない状況ですが、感染経路が複数ある場合等が、その他にチェックされます。</p>
<p>(遠藤会長)</p>	<p>令和3年は新型コロナによる休止が目立ちますが、令和4年はこういう工夫があったら良いとか、札幌市で考えていることはありますか。</p>
<p>(黒川感染症 総合対策課長)</p>	<p>この協議会の場で、委員の皆様からも、何かアイデアやご提案をいただければと思っております。</p>
<p>(満島委員)</p>	<p>コロナ渦で、ゲイ男性が気軽に検査にアクセスできない流れで、自分から予防内服し感染を予防できるよう、プレップ（PrEP＝予防内服）として、個人輸入で購入し予防内服している当事者の声も聞きます。</p> <p>質問が2点あります。当事者の葛藤もあり、MSM層などで予防内服しているから感染は大丈夫だからコンドームを使用しないという認識が横行しているように思います。またSNSで全国のある都市でこの性感染症が流行っているとの情報を目にすることがあります。</p> <p>1点目の質問は、HIV以外の性感染症の流行も心配されるため、幅広い性感染症の検査の導入はできないでしょうか。</p>

<p>(山口感染症担当部長)</p>	<p>2点目の質問ですが、札幌市のエイズ対策実施状況の中にある思春期ヘルスケア事業について、どのような事業なのか教えてください。</p> <p>1点目の質問については、札幌市は他の自治体に比べ、梅毒検査の導入は遅れがあったのが現状です。幅広い性感染症の検査については、検査の流れ、所要時間、また陽性となった場合のフォロー体制等、様々な検討が必要となります。他都市等の実施状況について研究させていただき検討してまいりたいと考えています。</p>
<p>(阿部地域保健・母子保健担当課長)</p>	<p>2点目の質問の思春期ヘルスケア事業については、平成14年から開始しており、小・中・高校に保健センターの保健師が出向く授業支援事業等を実施しています。命の大切さ、性について、喫煙、アルコールについて、等、心と体を大事に、親性をはぐくむ事業となっています。</p>
<p>(遠藤会長)</p>	<p>幅広い検査への取り組みについては、他の性感染症検査の導入も含め、新型コロナの流行が収束する前の検討を、また来年度の協議会でも進捗状況の報告をお願いしたいと思います。</p>
<p>(渡部委員)</p>	<p>梅毒発生数が増加していますが、医療機関で梅毒検査を実施する時に並行してHIVの検査を勧める等、梅毒検査を実施している医療機関に働きかけるような方法も考えられないでしょうか。</p>
<p>(遠藤会長)</p>	<p>梅毒検査の際にHIV検査を実施する場合、保険診療扱いとなることは厚労省から通知が出ていますが、皮膚科等、そのことを知らない医療機関もあると考えられます。医療機関へ保健所から啓発するのはどうでしょうか。</p>

<p>(山口感染症 担当部長)</p>	<p>HIV 検査にはデリケートな部分があり、検査は希望した人に行うという原則があり、医師と患者間で検査の説明をし同意した場合に実施となります。さらに、診療上の検査の必要性の判断は医療の分野ですので、それぞれ医療機関で個別に判断する部分になります。</p>
<p>(遠藤会長)</p>	<p>HIV 検査が保険診療扱いできるということは厚労省が通知しているので、同じ行政として保健所からの啓発が可能ではないでしょうか。</p>
<p>(山口感染症 担当部長)</p>	<p>医療機関での診療内容については、保健所から意見を述べる部分ではないと考えております。</p>
<p>(渡部委員)</p>	<p>梅毒検査をしたその場で HIV の検査にはつながらなくても、HIV の情報に触れる機会にすることが大事かと思います。例えば梅毒検査の際に医療機関が HIV についてもパンフレットを渡す等、HIV について考えるきっかけとなれば良いのではないのでしょうか。</p>
<p>(遠藤会長)</p>	<p>HIV 感染者への差別・偏見が医療従事者の中でも減らない現状があります。例えば、HIV 陽性であるためコロナワクチン接種を断られたという話も聞きます。新型コロナウイルス感染者の場合は差別について相談の窓口がありますが、HIV 感染者は相談窓口については、明確ではないのでどこに相談したら良いかわからない現状があると思います。</p>
<p>(後藤委員)</p>	<p>医師会としては HIV 感染者がコロナワクチン接種を断られた等の話は耳に入っておりません。HIV に限らず、市民の方が広く医療に関して相談できる医療相談窓口があるのではないのでしょうか。</p>

<p>(黒川感染症 総合対策課長)</p>	<p>医療機関の対応等に関する相談窓口として、保健所内に医療安全 相談窓口はあります。</p> <p>HIV について相談があれば、内容により個別に対応考えていく必 要があるので、声があれば個別に教えて頂きたいと思います。</p>
<p>(遠藤会長)</p>	<p>そろそろ時間になりましたので、皆様にお諮りいたしますが、 「令和4年度札幌市エイズ予防対策実施計画」につきましては、事 務局案を承認してよろしいでしょうか。よろしければ、みなさま挙 手をお願いします。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>⑨他質問・報 告事項等</p>	<p>他に、全体を通して、委員の皆様から、ご意見・ご質問などがあ りましたら、「手を挙げる」ボタンで挙手をお願いいたします。</p>
<p>(遠藤会長)</p>	
<p>(坂本委員)</p>	<p>新型コロナが流行した1年目は、検査場所をみんな一生懸命探し ている印象がありました。現在も検査を受けたいのに受けられない 人がいるのではと懸念しています。レインボープライド等の啓発活 動から相談につながることもあります。早急に他の性感染症も含め た検査について、検討をお願いいたします。</p>
<p>(満島委員)</p>	<p>検査数の減少が大きな課題と感じています。令和4年度の実施計 画でMSM 向け検査の周知とありますが、MSM 向けという表現だと、 レズビアン、トランスジェンダーはMSM ではないから検査を受けら れない、という当事者の声も聞きます。どんなセクシャリティの人 でも受けられるように、あり方が変わってくれればと思います。</p>

<p>(山口感染症 担当部長)</p>	<p>満島委員、ご意見ありがとうございます。MSM に捉われず、どんなセクシュアリティの方でも HIV 検査を受けられるよう、検査の名称や内容等を考えていくことは大事なので、今後検討いたします。</p>
<p>(遠藤会長)</p>	<p>委員の皆様、活発な議論をありがとうございました。</p> <p>お時間も迫ってきましたので、これで本日の議事を終了させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、所属されている職場又は団体等を通じまして、積極的なエイズのまん延防止に向けた啓発活動をお願いいたします。</p> <p>本日は皆様のご協力をいただきまして、無事議事を終了することができました。ご協力ありがとうございました。閉会にあたり、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。</p>
<p>⑪連絡事項 (黒川感染症 総合対策課長)</p>	<p>遠藤会長、議事の進行、ありがとうございました。委員の皆様、ご審議、ありがとうございました。</p> <p>令和4年度につきましても、本市のエイズ対策にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>次回の協議会につきましては、来年の1月～2月頃の開催を予定しております。</p> <p>委員の皆様への報酬のお支払いの関係ですが、委員の皆様で口座振替書とマイナンバーの確認書類のご提出がまだの方は、ご提出をよろしくをお願いいたします。</p>
<p>⑫閉会 (黒川感染症総 合対策課長)</p>	<p>以上をもちまして、札幌市エイズ対策推進協議会を終了いたします。</p> <p>本日はご出席いただき、誠にありがとうございました。</p>